

【観光局】

19. 観光・交流室

観光政策グループ TEL 059-224-2077
国内誘客1グループ 2802
国内誘客2グループ 2830
海外誘客グループ 2847
FAX 059-224-2482
E-mail kanko@pref.mie.jp

式年遷宮および式年遷宮後を見据えて、「三重県観光振興条例（仮称）」および条例に基づく「三重県観光振興基本計画（仮称）」を制定し、戦略的に「観光振興」と「地域づくり」を進め、三重県観光のさらなる発展を図ります。

県産品の魅力を活用した観光と物産の連携を強化し、新たな集客交流システムを構築するとともに、エリア別の情報発信や周遊性、滞在性の向上を図る誘客戦略を展開します。

また、将来に向けて可能性の高い海外誘客戦略を積極的に展開し、三重県を主要目的地とするための三重県のブランドイメージの構築に取り組みます。

さらに、観光客の多様なニーズに対応するため、地域資源を最大限に活用し、地域が主体となった観光の魅力づくり、人づくりの取組を支援します。

観光政策グループ

1 集客交流の推進

(1) 観光事業推進費（国・一部県単）

41,653千円（22当初:45,072千円）
30,000千円（4月補正）

観光事業の推進を図るため、関係団体との連携や観光動向の分析に必要な観光客実態調査等に取り組みます。特に、将来にわたり、三重県観光の持続的な発展を図る基盤として「三重県観光振興条例（仮称）」等の制定に取り組みます。

(2) 県営サンアリーナ管理事業費（県単）

284,479千円（22当初:320,681千円）
52,200千円（22年2月補正）

県営サンアリーナ管理運営費

県営サンアリーナの管理運営を、指定管理者制度を導入して行います。

県営サンアリーナ環境整備費

県営サンアリーナの施設修繕を計画的に行います。

(3) 観光関連雇用創出事業費（ふるさと雇用再生特別基金事業）（緊急雇用創出事業）

142,487千円（22当初:219,557千円）
88,207千円（6月補正）

観光関連ふるさと雇用再生事業費

三重県への誘客を図るため、旅行会社等への観光商品の販売促進事業と、伊勢志摩地域への受入対策事業を行います。

観光関連緊急雇用創出事業費

民間企業等の創意工夫に基づいた企画提案型観光活性化事業及びニーズに応じた人材を育成し雇用につなげる雇用マッチング事業 他全9事業を行います。

国内誘客 1 グループ

1 情報発信・誘客戦略の推進

新(1)「**美し国みえ**」情報発信戦略推進事業費(県単)[105頁]

38,701千円(22当初:33,000千円)

式年遷宮の好機を生かし、首都圏等の大都市圏において、「食」等の県産品の魅力を活用しながら、本県の魅力を積極的に情報発信します。

(2)「**旅ごころ誘う三重奏**」誘客戦略推進事業費(国・一部県単)[105頁]

81,479千円(22当初:99,664千円)

15,000千円(6月補正)

首都圏・関西圏・中京圏・県内等エリア別の誘客戦略を展開します。特に、首都圏等大都市圏の主要旅行会社等に対し情報提供を行い、旅行商品の企画・販売促進に取り組みます。

(関係グループ：国内誘客 2 グループ)

(3) **観光情報提供事業推進費**(国・一部県単)

37,170千円(22当初:45,381千円)

本県の知名度の向上や観光イメージ付けを行うため、(社)三重県観光連盟等と連携して観光情報の発信に取り組みます。

2 観光の魅力づくり・人づくり

(1) **魅力ある観光地づくりグレードアップ支援事業費**(国・一部県単)[105頁]

18,690千円(22当初:15,530千円)

地域資源の魅力を最大限に引き出すために地域が主体的に行う、資源の発掘・磨き上げ・創造への取組を支援します。

(2) **三重の観光プロデューサー設置事業費**(県単)

8,179千円(22当初:8,179千円)

「三重の観光プロデューサー」を設置し、地域の観光商品づくり等の取組を支援するとともに、地域の観光人材の育成とネットワーク化を進めます。

(3) **観光需要創出キャンペーン事業費**(県単)

7,600千円(22当初:12,600千円)

景気低迷の中、本県への誘客を図るため、宿泊につながる旅行商品を造成し、観光需要を創出することにより来訪の促進につなげます。

3 快適性の向上に資する社会基盤整備

(1) **熊野古道シャトルバスの活用による熊野古道の魅力増進事業費**(国・一部県単)

15,600千円(22当初:13,200千円)

東紀州地域への観光客の利便性・快適性の向上に寄与するため、名古屋駅と熊野古道の各峠をむすぶシャトルバスを関係市町と共同運行し、来訪者の利便性を確保します。

国内誘客 2 グループ

1 情報発信・誘客戦略の推進

(1) **教育旅行誘致事業費**(県単)

1,700千円(22当初:1,720千円)

中長期的な視点に立った三重ファン・リピーターの確保に向け、首都圏等からの修学旅行誘致、県内及び近隣府県からの社会見学等教育旅行の誘致を進めます。

海外誘客グループ

1 外国人観光客の誘客推進

(1) 海外から「訪れる必然性」を生み出すブランディング戦略事業費（国・一部県単）

〔106頁〕 37,507千円（22当初:33,036千円）

東アジア地域を中心に各種プロモーションや誘客活動を展開します。特に三重県のイメージを明確化し、情報発信を強化することで、三重県を主要目的地とするブランディング戦略に取り組みます。

(2) 三重県の交通・物産資源を活用した訪日旅行商品造成支援事業費（県単）〔106頁〕

17,400千円（22当初:17,400千円）

海上アクセスなどを利用した訪日旅行商品を造成し、韓国、台湾及び中国のマスメディアを通じて、県内への誘客促進と観光需要の回復を図ります。